

授業科目名 ( 英文名 )	地域経済論 ( 経済学部・専門教育科目 ) ( Regional Economics )	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	友野 哲彦	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>わたしたちの住む地域経済は、さまざまな課題に直面している。たとえば、所得、失業、国際化、開発のあり方や環境問題などである。</p> <p>この講義では、こうした地域課題に対して、経済学の視点から理論的・数量的にアプローチする方法を講義する。受講生の地域経済に対する関心が広がるとともに、地域課題を分析する能力を身につけることが到達目標である。</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>講義内容</b> 本講義では地域経済について、経済理論、数量分析手法、数値計算、映像資料 ( DVD やパワーポイント資料 ) 等を織り交ぜながら進められる。また、数回程度、P C 教室を利用したデータ分析の実習を行って実践力を養う予定である。講義は学生の理解度を確認しながら、弾力的に進める。</p> <p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(1)</li> <li>2. ガイダンス(2)</li> <li>3. イントロダクション</li> <li>4. 地域経済計算(1)</li> <li>5. 地域経済計算(2)</li> <li>6. 移出基盤アプローチ</li> <li>7. ケインズアプローチ(1)</li> <li>8. ケインズアプローチ(2)</li> <li>9. 消費関数</li> <li>10. I-O分析(1部門)</li> <li>11. I-O分析(2部門)</li> <li>12. I-O分析(行列計算)</li> <li>13. I-O分析(貿易なし)</li> <li>14. I-O分析 ( 貿易あり )</li> <li>15. 地域統計実習(1)</li> <li>16. 地域統計実習(2)</li> <li>17. 地域統計実習(3)</li> <li>18. 地域統計実習(4)</li> <li>19. プロジェクト評価</li> <li>20. 環境の経済評価(1)</li> <li>21. 環境の経済評価(2)</li> <li>22. 環境評価理論(1)</li> <li>23. 環境評価理論(2)</li> <li>24. 比較優位(1)</li> <li>25. 比較優位(2)</li> <li>26. 格差問題(1)</li> <li>27. 格差問題(2)</li> <li>28. 格差問題(1)</li> <li>29. まとめ</li> <li>30. トピックス</li> <li>31. 評価 ( 到達度の確認 )</li> </ol>		
テキスト	テキストは使用せず、必要に応じてプリント資料を配布予定である。		
参考文献	講義内で紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>期末定期試験 ( 持ち込み不可 ) で100%評価する。</p> <p>到達目標に示されている能力の修得度を、学部規程の「評価の基準」に従って、S(A+), A,B,Cで成績をつける。</p>		

履修上の注意・履修要件	日常的な課題(予習)として、新聞等を読み、地域社会に対する関心を深めておくことが大切である。ミクロ経済学とマクロ経済学を履修済みである(あるいは並行して履修する)ことが望ましい。単位取得には、出席および十分な復習が不可欠である。講義の中で数回程度、学内のパソコン教室を利用する予定である。
実践的教育	該当しない
備考	数学やパソコンは、はじめからできる必要はないが、学ぶ意気込みのある学生を望む。